

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		臨床実習Ⅳ・Ⅴ			4・5		
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料	
3学期		砂田 芳秀		和田 秀穂		無	
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 礼儀正しく患者やその家族と接し、信頼関係を形成できる。 2. 適切な医療面接を実施できる。 3. バイタルサインを診ることができる。 4. 頭頸部の診察ができる。 5. 胸部診察ができる。 6. 腹部診察ができる。 7. 神経診察ができる。 8. 筋骨格系の診察ができる。 9. 診療情報を収集・分析し、問題点を抽出できる。 10. 病態を推論し、鑑別診断を挙げ、検査計画を立てることができる。 11. EBMが実践でき、治療方針について指導医と議論することができる。 12. 適切な診療録記載ができる。 13. 適切な症例プレゼンテーションができる。 14. チーム医療が実践できる。 15. 外科基本手技が実践できる。 16. 基本的な画像（胸・腹部単純X線像など）が読影できる。 17. 実習各科における診療に必要な基本的医学知識を説明できる。 							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者・所属	授業内容	コアカリ項目
1～	2020.1.7～	月～金	1～7	実習	各実習科	診療参加型臨床実習	G-1, G-2, G-3, G-4
評価方法							
<p>[実習点]100%</p> <p>[評価方法]多肢選択試験、小テスト、口頭試問、出席・受講態度評価、論文・レポート、ポートフォリオ、プレゼンテーション評価、OSCE、実習態度評価、観察記録</p> <p>[備考]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 4学年から5学年にかけて、52週間にわたる診療参加型臨床実習（Clinical Clerkship）を行う。 2) 臨床実習Ⅳ・Ⅴについては全出席が原則である。2018～2019年度進級判定基準は、全実習科の平均点が60点以上かつ欠点実習科1科以下の場合に、単位認定を行うとしている。2019～2020年度進級判定基準については、臨床実習Ⅳ・Ⅴオリエンテーション時に説明する。臨床実習Ⅳ・Ⅴの評価は、5学年の学年末に行う。 							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 実習が始まる前に「今日の目標」、実習が終わった後に、その日の「実習内容」「学べたこと」「反省点」を実習日誌に記載すること。「実習を通しての振り返り、学習目標の達成度など」「今後の目標、学習課題」については、各科での実習最終日まで、指導教員へ提出すること。 2) 提出後は、実習全体を通してのコメントを指導教員が記載する。その後、教務課より、封筒に入れて各自に返却する。 							
教科書							
各実習科の指導教員の指示に従うこと。							
参考書							
各実習科の指導教員の指示に従うこと。							
準備学習（予習・復習等）							
各実習科の指導教員の指示に従うこと。							
講義についての注意事項							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 各実習科の指導教員の指示に従うこと。また、臨床実習の心得や実習期間を通して身につけるべき事項等については、臨床実習の手引きを参考にすること。 2) 病気、事故等でやむを得ず欠席する場合は、担当教員と教務課に必ず自分で連絡をし、学生が担当教員に補充実習を依頼した後、事務室で欠席届を受け取る。補充実習終了後、欠席届に当該実習教室責任者に確認印をもらい、速やかに教務課へ提出すること。 							
昨年度からの変更点・改善項目							
詳細については、オリエンテーション時に説明します。							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について							
医学知識・技能・態度を身につけるための科目であり、本科目習得後に学が臨床実習Ⅵ履修のために必要な学問である。生涯学習の必要性や卒後研修への継続的な学修を意識する。医師としての強健な意志と体力の重要性を学ぶ。							
ナンバリング							
DCCC418							